掲示板

◆チャリティ紅白歌合戦

【日時】3月7日（日）12時開演
【場所】中央公民館
【料金】前売り3百円・当日5百円
※入場料の全額を、高齢者福祉のために社協へ寄附します。前売り券は、社協本所・公民館で販売しております。
【問い合わせ先】香美市社会福祉協議会
☎53－5800
（チャリティ紅白歌合戦実行委員会）

まちの声

◆香北中学校生徒会より廃品回収に、ご協力ありがとうございました

昨年12月13日の廃品回収では、ご協力ありがとうございました。

私たちはこの廃品回収を通じて、地域の人たちとふれあい、地域との結び付きの大切さを学んでいます。今回も身体も心も温まった1日となりました。そしてみなさんのご協力のおかげで、たくさんのリサイクル資源を集めることができ、約25万円の収益を得ることができました。本当にありがとうございました。

みなさんの温かい気持ちがこもった収益金を、生徒会の運営費用として、生徒会行事や部活動に大切に活用させていただきます。

次回は5月を予定していますので、またご協力をお願いします。

私たちはこれからも地域の皆さんと一緒になっていろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。ご意見などがありましたらお知らせください。

（香北中学校生徒会）

ただいま留学中㉝

袁 軍（イァン ジュン）（中国・四川省）

私は電子・光システム工学博士後期課程の1年生で、昨年の10月に中国の成都から来ました。今は電子通信システム研究室でアナログ回路のテストを研究しています。

私は、重慶の近くの小さい町で生まれ、高校を卒業して、成都にある西南交通大学に行きました。私は成都に7年住んで、住めば住むほど成都が好きになりました。今日は成都を紹介したいと思います。

成都は四川省の省都で、中国の西南地域における科学技術、商業貿易、金融、交通、通信の中心と中国の歴史文化名城です。豊かな成都平原の中にあって古くから「天府の国」とか、「芙蓉」の花が市花なので「蓉城」とか呼ばれてきました。成都は三国時代には劉備玄徳が「蜀」の都と定め、また諸葛孔明が活躍した所です。8世紀には杜甫が住んでいたなど、歴史に名前が残るような人物にまつわる場所がたくさんあります。

成都の道路は平らなので、どこでも自転車で行けます。四川料理は日本でも名が知られていると聞きました。どんな料理かと言えば川菜（チュアン ツァイ）の部類です。「麻婆豆腐」、「四川火鍋」などご存じでしょうか。気候は四季がはっきりと分かれていて、夏は涼しく、とても住みやすい所です。

香美市も暮らしやすい町です。静かで、いろいろ美しい景色があり、緑が多いし、市民の皆さんはとても暖かくて優しいし、とてもいい所です。ホームステイに行ったり、いろいろお世話になっています。本当にありがとうございます。香美市の皆さん、これからもよろしくお願いします。

神氐ちゃん その29 ～ZIGOKU耳～

おたは
ふくお
うち
…
そっと
鬼ってあんなんじゃ
そうだよねー
ないなー
だって…
こら!!
ねー
ゴゴゴゴゴ…

作：國則　京花
（山田高校マンガ部）

香美史探訪記

第9回 神池星神社と薬師堂 物部町神池

物部町には、平家の子孫と言われる小松・門脇・久保・宗石などの姓があり、建久２年（１１９１年）相模国小田原から、押谷の小峯に落ちて来た山内氏は、山中・安丸・柳瀬・楮佐古諸氏の祖と言われている。

今回は、神池に落ちて来た播磨国（兵庫県）守護大名赤松氏の後裔森本氏（上池氏）を紹介する。

嘉吉元年（１４４１年）赤松満祐は、第６代将軍足利義教を京都私邸に招き、祝宴中に満祐の子教康らに暗殺させた。前代未聞のこの事件を「嘉吉の乱」と呼ぶ。赤松氏が殺害におよぶほど追い詰められた背景には、義教の専制的弾圧により、大名の領地没収が行われたことがあった。

播磨国坂本城に篭城した満祐は、畠山氏等の追討軍と２カ月におよぶ激戦の後に自害した。長子教康は、伊勢国（三重県）の国司北畠顕雅を頼って一志郡多気（津市美杉町多気）に逃げて、近くにかくまわれたが、幕府の追及が厳しくなり、北畠氏が自害させたと言われる。北畠邸南方の丹生保には「赤松さん」と呼ばれている五輪塔がある。

しかし実際には、教康は、森本彦左衛門と改名して嘉吉元年１２月に土佐国上池村に入り、槍水で耕地を拓き、郷里の氏神妙見菩薩を勧請（星神社）して祭り、境内に杉を植えたと言われる。星神社の大杉は樹齢５６０年余と言われ、美しい巨木に成長している。

教康の長男教義は山田氏に仕え、その子教光は、天文１８年（１５４９年）山田氏の楠目落城の時、楠目で奮戦して戦死した。教義の弟重国も山田氏に仕えていたが、山田氏の滅亡とともに、知行を離れ神池で没し、死亡後には薬師堂の畝に葬られた。重国の子惣左衛門尉（上池宗左衛門）は、上池土居に住んで長宗我部氏に仕え旧領を賜っていた。子孫は江戸時代にも上池村の歴代名本（庄屋）を勤めた。神池槍水の星神社境内には森本氏（上池氏）の先祖宮が祭られている。

神池は、室町時代末期には、上池名（みょう）と下池名があり、各土居屋敷で名主（みょうしゅ）が治めていたことがわかる。江戸時代には、上池、下池、神通寺の各村に分かれていて、明治９年（１８７６年）神池村となり、明治22年（１８８９年）上韮生村となっている。

神池小中学校跡の薬師堂案内板に従って、上池土居屋敷跡を少し上ると、巨木１０本ほどが繁る薬師堂が見える。近くには名本（なもと）森本氏の自然石の墓石が並んでいる。薬師堂の棟札から、享保５年（１７２０年）願主森本□□□によって堂が再建され、元文元年（１７３６年）上池村森本□左衛門が薬師瑠璃光如来尊像一基を諸願成就のため奉納したことが分る。境内にはミニ八十八ヶ所７０番から７７番の石仏があるので、参詣の人々で賑わった歴史があるものと思われる。

（香美史談会）

▲物部町神池薬師堂

編集後記

▽成人式の取材では、若さあふれる新成人に元気をいただきました。久しぶりの友人との再会に、話がつきないようで、式典が終わってからも会場周辺には、多くの方の姿がありました。人生の一つの区切りとなる成人式は、同窓会の役割も果たしていました。
▽今月号は、カラーページが多く、「結構お金がかかっているのでは？」と思った方もいるのではないでしょうか。実はこれ、印刷会社さんの計らいで実現しました。今月号は左図のとおり４面で印刷され、カラーページ■のある面はすべてカラー印刷になることから、白黒の場合と同額で□のページもカラーにしていただけました♪

（細木）

1	20	17	4	カラー
8	13	16	5	
3	18	19	2	
6	15	14	7	
9	12	11	10	白黒

■は最初からカラーの予定だったページ。数字はページ数。